

食育の大切さを勉強

給食試食会

榎並女性会

10月11日(木)榎並女性会第5回地域学級は、学級生52名の参加で榎並小学校において給食試食会を開催しました。

まず栄養教諭の東堤先生より現在の給食のお話をお聞きしました。学校給食はただ食べるというだけでなく、児童の健康増進、体位の向上をはかるのが目的で、給食をとおして社交性や共同の精神を学ぶことも大切に行っています。米飯が週3回、また週2回のパンも6種



類あり、中でもコッパパン、食パン、黒糖パンが人気があるそうです。季節の果物や缶詰も月6回、

おかずに関しては1カ月間同じ献立はないそうです。また、行事の時(入学式、子どもの日、月見正月、節分、卒業式)はとくに工夫した献立が出ます。私たちの家庭も見習いたいほどよく考えて作ってくださりありがたいなあと痛感しました。

いよいよ試食の時間、配膳の準備から入り、小学生に戻ったように盛りつけに一生懸命になりました。準備が整い皆で

「お父さん、お母さんありがとう。いただきます。」と唱和し食べ始めました。今日の献立は、(コーンクリームシチュー、きゅうりのサラダ、りんご、食パン、いちごジャム、牛乳)です。シチューは小麦粉を使わず上新粉で調理、豆や野菜がふんだんに使われ、温かいうちに食べられるように調理の方も気をつけておられます。「パンがおいしいね」「私たちの時は粉のミルクで飲みにくかったね」「ビンの牛乳が

おいしいね」「シチューの味付けが良いね」と色々話が盛り上がりつつありました。最後に子どもたちが給食を食べている様子と、給食調理室を見学させていただきました。子どもたちは皆楽しそうに食べている様子で、私たちの来訪に少し緊張している様子でした。私たち女性の学級生も小学生に戻った気分です。食育の勉強をさせていただき、大変有意義な日となりました。



今年で15回目となるエナミスポーツフェスティバルが、10月21日(日)榎並

第15回 エナミスポーツフェスティバル

榎並連合町会主催

小学校校庭で開催されました。小さい子どもからお年寄りまで多くの方々が一同に集まりました。町会対抗ということで、応援旗やユニフォームを準備する町会が増えてきて、益々盛り上がりつつあります。今年来られなかった方も次回はぜひご参加ください。

引き続きご協力を

ベルマークで被災地支援



えなみネット17号で継続的な被災地支援の一環としてベルマーク収集協力を依頼させていただきました。集まったベルマークは、榎並小学校PTAで定期的に集計、整理しています。

11月23日現在1083点のベルマークが集まりました。皆様のご協力

力で多くの点数が集まりましたこと心より感謝申し上げます。3学期までに集められたベルマークは、東北の被災地の方々への支援にさせていただきます。

ベルマークは、今後も継続的に収集していきま

榎並人権合同講演会

共に生きる絆と人権

ハープ奏者 田中ゆか氏



10月6日(土)榎並連合町会主催、榎並各種団体の共催により榎並人権合同講演会が開催さ

れました。歌手・ハープ奏者の田中ゆか氏によるトーク&コンサート、共に生きる絆と人権と題して講演していただきました。ハープのすてきな音色に合わせ「よんでいこう胸のどこか奥で」と天使のような声でうたわれ一瞬のうちに会場がシーンと静まりかえりました。続いて1940年代の「蘇州夜曲」

「浜辺の歌」テレサテンの「時の流れに身をまかせ」教科書からなくなってしまった名曲「子猫の心」が深まっていき王の心が開かれ病が改善していったそうです。絆(きずな)というのは(きず)を(な)おすという意味でもあるのか。あっという間に時間が過ぎ最後の曲はオリジナルの「輝く未来」という曲でした。「世界が平和であることを願って、輝く未来があることを信じ生きていこう」と思っています。そして絆を深め生きていこう」と美しい歌声でもって私たちの心に深く絆の大切さを教えていただいた講演会でした。美しいものを美しいと感じる感性があれば、人は争いを起こさない。そんな人と人が絆を深める榎並の街にしたいと心から願いました。